

第5回我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議 議事要旨

(1)会議名称	第5回我孫子市まち・ひと・しごと創生有識者会議							
(2)開催日時	平成28年1月12日 10:00～11:20							
(3)開催場所	我孫子市役所議会棟A・B会議室							
(4)出席者	委員							
	出	山内 智	出	熊田 雅弘	出	大炊三枝子	出	川口 伸一
	出	林 健一	出	門脇伊知郎	欠	永嶋久美子	出	山岸 由紀子
	出	坂巻 弘一	出	布施 高広				
	事務局							
	木下企画課主幹 佐野企画課主査長 小嶋企画課主任							
(5)議題	1. 有識者会議委員からの意見と市の対応方針について 2. パブリックコメント及び議会からの意見とその回答について 3. 我孫子市人口ビジョン（案）について 4. 我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について 5. 今後のスケジュールについて							
(6)公開・非公開	公開							
(7)傍聴人の数	2人							

(8)会議の内容

1 有識者会議委員からの意見と市の対応方針について

事務局より有識者会議委員からの意見と市の対応方針について説明を行った。

意見等
■ 意見、質問特になし。

2 パブリックコメント及び議会からの意見とその回答について

事務局より資料に沿って説明を行った。

意見等
■ 意見、質問特になし。

3 我孫子市人口ビジョン（案）について

事務局より資料に沿って説明を行った。

意見等
■ 意見、質問特になし。 ⇒本内容を案とすることについて承認された。

4 我孫子市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について

事務局より資料に沿って説明を行った。

意見等

- 3 ページにPDC Aサイクルをわかりやすくしている表があるが、個人的には「オール我孫子」の「オール」というのはどうなのかと思う。国にちょっと寄りすぎている感じがする。また、「オール我孫子の声を反映」がP（PLAN）にしか入っていないので、D（DO）C（CHECK）、A（ACTION）の全てに入っている方がよい。人によっては、PDC AサイクルはPから始まるという意見の人もいれば、Cから始まるという人もいる。（熊田副委員長）

⇒「オール我孫子」という文言は入れない方がよいか。（事務局）

⇒今の政権を意識しているのが見え隠れしているものはどうなのかという気もする。（熊田副委員長）

⇒文言については、「多様な主体」等のような表現にするよう検討する。（事務局）

- 27 ページの産後ケア事業のKPI（重要業績評価指標）は、利用者を増やしていくとあるが、産後ケア事業そのものの中身の検討については、第三次基本計画の中などで見直されるものなのか、それとも今ある事業についての利用者としての評価になるのか、そのあたりについて、計画期間は5年あるので中身そのものが検討されるべきものと思うがどうなのか。（山岸委員）

⇒産後ケア事業自体は、平成27年度から始めたばかりのもので、今はまだ利用者が増え始めている段階で中身の検証までは難しいと思われる。現時点では5年後の出生者数の1割ぐらいを見て利用者数を設定しており、ニーズも高いという現状から利用者数の増を目標値として設定している。ただし、進捗状況の見直しの際には、このKPIだけにとらわれることなく、数値としてはこうだが中身的にはこうすべきであるというような検証の手法をとるなど、柔軟性のある評価にしていきたいと考えている。（事務局）

- 素朴な疑問だが、20 ページのKPIの「メディア（新聞）で取り上げられた回数」というのは、単純にカウントしやすいとかそういうことで設定しているのか。（山岸委員）

⇒現在、お金を払ってCMを流したり、都内のコミュニティFMラジオ番組などに出演したりなどしているが、新聞の場合については、もちろん情報は提供するが、お金を払って記事を掲載している訳ではなく、記事にするかどうかは新聞社の判断に委ねられるため、そういう意味では客観性のある取り上げ方をしていられるため設定している。（事務局）

- KPIで具体的な数値が出されているものは中間チェックなどがしやすいと思われるが、例えば、市民満足度みたいなものについては中間的に調べていくものはないが、市として、今後5年間あるので、今後アンケートをとることを考えているのかどうか。もしくは、市の職員の方でアバウトな、感覚的なやり方でいくのかどうか。そこだけ教えていただきたい。（山内委員）

⇒中間でアンケートを取るということは、状況に応じてあろうかとは思いますが、市の基本計画を作るときに継続してアンケートをとっており、次年度から始まる基本計画の計画期間が平成33年度までであるため、その年度か、その前年度にアンケートを取る予定と

している。そのため、年度は少しずれるかもしれないが、そのデータを活用していきたいと事務局では考えている。(事務局)

■ パブリックコメントは何件あったのか(熊田副委員長)

⇒1件だけである。(事務局)

⇒指摘事項を修正した上で案とすることについて承認された。

5 今後のスケジュールについて

事務局より、今後の策定スケジュール及び次年度以降の会議について説明を行った。

意見等

■ 意見、質問特になし。